

とびうめ



目 CONTENTS 次

地区活性化部会活動報告	2
研修報告	3
事業所取組紹介	4~5
特集	6
ハロウィンパーティー	
全国児童部会大会	7
九州地区親善球技大会	
障害者週間啓発ポスター作成	8
新規入会施設	

No. **2**

【事業所取組紹介】

ひよりの丘 / フレンズ /
荒木学園 / 笠松あんじゃ園

令和6年度地区活性化部会 活動報告

北九州地区 北九州地区代表 ひよりの丘 副島 克也

令和6年12月20日（金）に、令和6年度第1回施設長会・研修会を、北九州市戸畑区のウェルとばたで開催しました。施設長会は、本年度の役員会報告、木高会長から「障がい者福祉の現状」等の情報提供をいただきました。研修会は、「福祉施設における労務管理の基礎知識と最近の法改正について」と題しまして、山本あらた社会保険労務士事務所の山本 新 氏に講演いただきました。今後も、障がい福祉の情報や研修の場を提供していきます。



福岡地区 福岡地区代表 ほっとスペースあさくら 石井 邦佳

福岡地区では、部会委員会代表者会議を今年度はじめて開催し、各部会委員会活動について発表いただいた後、今年度の地区活動について協議しました。今後も、各活動内容について周知・共有する機会として継続していきたいと思えます。また、施設長研修会では、厚生労働省社会・援護局 総務課 矯正施設退所者地域支援対策官 伊豆丸 剛史 氏を講師に迎え、「罪を犯した人への寄り添いから描く『地域共生社会』～“生きづらさ”は見えない～」と題して御講演いただきました。貴重な機会でしたので地区会員施設のみならず全会員施設に案内し、多くの皆様に参加いただきました。そして、職員研修においては11月にレクリエーション研修会、2月に事業所情報交換研修会を実施しました。

人材確保や施設運営も厳しい状況にあり、親善球技大会を含め本会事業への参加者・参加施設の減少がみられる昨今ですが、会員の皆様にとって有益な地区活動となるよう令和7年度も充実した地区活動を開催していきます。

筑後地区 筑後地区代表 赤坂園 田島 茂敬

令和6年10月30日（水）「つながりあう」をテーマに、昨年度実施したワールドカフェ方式の研修会をブラッシュアップし、現場で働くスタッフのモチベーションアップを目的とした交流会と、役職員を対象とした「施設の賠償責任と事故事例」について、損害保険ジャパン株式会社九州保険金サービス第一部 福岡火災新種保険金サービス課 主任 長谷川 雅史 氏を招き、施設運営におけるリスクを再認識し、事故の対処方法や事故防止対策を考える研修会を開催しました。

今後も地区での活動を通して、施設間の交流を行い、日頃から会員施設同士のつながりを大事にしていきます。



筑豊地区 筑豊地区代表 笠置寮 淵上 忠彦

筑豊地区施設長会が、毎回、40名を超える参加となり、活動に御理解と御協力をいただいていることに感謝いたします。

今年度は、報酬改定、社会保険適用の拡大、労働条件明示のルール変更等の労務関係の法改正、マイナンバーの対応、来年度より予定されている改正の確認を行いました。また、8月末に強度行動障害のある方々の生活空間、環境づくりを行っているグループホームを見学する予定としていましたが、残念ながら台風10号のため急遽延期となり、その後、なかなか日程が合わず、改めて令和7年度に施設見学を行うことになりました。来年度は、より内容を充実させた施設長会にしたいと思えますので、今後ともよろしくお願いいたします。

研修報告

Report

令和6年度 相談支援研修会

◆開催日：令和6年9月20日（金） ◆会場：リファレンス駅東ビル（福岡市）

今回は「みんなで考える相談支援従事者のためのスーパービジョン」と題して、八女市障がい者基幹相談支援センター主任相談支援専門員の井出口 大剛氏を講師として迎え、前半はグループスーパービジョン（以下、GSV）の基礎知識を中心とした講義、後半は参加者の一人に事例提供者となっただき、実際の事例をもとにしたGSV実践演習を行いました。講師の井手口氏は、八女地区を中心にアウトリーチサポートチームを形成し、GSVの実践を通して、支援に行き詰まり感を覚える相談支援専門員等に対して、支持的にアイデアを出していくことで、気づきを促し、実践の承認、関わりの動機づけを高めるサポートを行っています。研修後半の演習においても、進行役（ファシリテーター）を担っていただき、丁寧に事例提供者（スーパーバイザー）の相談支援員としての課題・問題認識を明らかにして、研修参加者（スーパーバイザー）からのアドバイス、気づきを含んだ意見を引き出しついかれました。研修参加者からは、「スーパービジョン研修は何度も受けたいテーマです」「スーパービジョンを更に深めたい」や「相談支援員が考える虐待防止や意思決定支援について考えたい」「相談支援員同士で話せる機会がほしい」など、今後の取組への参考となる御意見をいただきました。井手口氏には業務御多忙の中、研修講師をお引き受けいただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。（相談支援部会）



令和6年度 障がい児支援・虐待防止研修

◆開催日：令和6年9月26日（木） ◆会場：クローバープラザ（春日市）

昨今、障がい児支援において、虐待事案の増加もあり、支援向上の取組による虐待防止の視点での研修ニーズが高まっている中、本研修会を開催しました。内容は、講義と事例検討の2部構成とし、事例は『障がい特性の理解』を踏まえてADHDの診断のある児童への支援』と『愛着形成の課題からの理解』を踏まえての被虐待児童への支援』として、グループに分かれて検討しました。当協会の強みは、現場で培った実践力を捉えた研修講師及びファシリテーターを会員施設の職員で揃えることができることで、研修会では、具体的な支援実践について深めることができました。今後も本研修を継続して実施し、障がい児支援全体の支援の質を上げ、地域貢献につなげていきたいと思っております。（児童発達支援部会）

令和6年度 権利擁護に関する合同研修（2日目）（福岡県身体障害者施設協議会との共催研修）

◆開催日：令和6年10月24日（木） ◆会場：TKP ガーデンシティ博多新幹線口（福岡市）

昨年度から『福岡県身体障害者施設協議会』と合同で「権利擁護に関する合同研修」を開催し令和6年度は年2回開催しました。2日目は下記のとおり開催しました。

講義：意思決定支援について

公益社団法人 福岡県社会福祉士会 青柳 壮悟氏

事例発表①「進路支援における意思決定支援」（若久緑園 上原 桂一郎氏）※福岡県知的障がい者福祉協会 会員施設

事例発表②「利用者支援の取り組み～希望を現実に～」(蓮の実団地 佐藤 彰徳氏) ※福岡県知的障がい者福祉協会 会員施設

事例発表③「具体的な意思の確認方法」(はまゆうワークセンター大野城 堀切 美里氏)

講義では、意思決定の主体は誰なのか、支援の在り方について再認識することができました。また、グループワークでは、他事業所間での取組や課題・悩み等を共有する中で、今後、各事業所でどのように取り組めばよいか等を考える機会となり、大変有意義な研修となりました。

本研修は、権利擁護に関する取組を学び、今後の支援に活かすことを目的としています。

(権利擁護・研修部会)



会員施設等への出前講座

- 9月25日（水）みやま市障がい者福祉サービス事業所連絡会 職員研修
テーマ「虐待と身体拘束廃止のための研修」
- 11月27日（水）糸島市スマイルネットワーク 職員研修
テーマ「虐待防止・身体拘束について」
- 令和7年2月24日（月）障がい福祉サービス事業所 ひなの家
テーマ「虐待防止・身体拘束防止について」
- 2月27日（木）障がい者支援施設 慈久園
テーマ「障がい者虐待防止・権利擁護について」

本会では、権利擁護・研修部会の委員が出前講座を行っております。

会員施設以外でも御相談を受け付けますので、施設内研修等で必要な場合は、事務局（092-584-3377）まで御連絡ください。

※本会が開催する研修及び出前講座も身体拘束研修義務化の対象となります。（福岡県 福祉労働部 障がい福祉課に確認済み）



事業所取組紹介



nakama

～あんなことこんなこと～

社会福祉法人 北九州市福祉事業団 ひよりの丘

〒807-1121 福岡県北九州市八幡西区石坂2丁目5-21
TEL 093-619-0010 FAX 093-619-0011
HP <https://hiyorinooka.com>



施設HP
二次元バーコード

障害者支援施設「ひよりの丘」は、北九州市若松区小敷にある「小池学園」に併設して「小池学園成人部」として開設されたのが始まりです。その成人部が、平成23年10月に北九州市八幡西区石坂に「ひよりの丘」として移転し、今年で14年目になります。

ひよりの丘では、個々の利用者寄り添った支援を行っています。さらに、地域との交流も重視しており、お獅子廻しやコスモス鑑賞会、どんど焼きなどの地域行事に参加しています。また、障がい者スポーツ大会、ボウリング大会などのレクリエーション活動も積極的に参加し、利用者にとっていろんな経験を築くことができると考えております。

これからも、利用者が安心して過ごせる温かい施設となるよう、取り組んでまいります。



お獅子廻し



障がい者スポーツ大会



サテライトこいけ祭り

社会福祉法人 筑紫会 フレンズ

〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田1-18-5
TEL 092-926-5696 FAX 092-926-5791
HP <http://chikushikai.jp/>



施設HP
二次元バーコード

フレンズは、平成14年8月に開所した筑紫野市にある生活介護事業所です。定員40名、現在20代から70代の方が利用されています。応用行動分析を基に、一人ひとりの特性に合わせた支援を行い、行動を客観的に評価・分析することで、より適切なサポートを提供できるよう取り組んでいます。

日中は、ネジの袋詰めや情報誌の折り込みなどの作業に加え、個々のニーズに合わせて散歩やドライブなども実施しています。また、月に2回の土曜開所では、創作活動やカラオケ、卓球、軽運動などのレクリエーションを利用者、職員ともに楽しみながら実施しています。

これからも、利用者の方が自分らしく過ごせる環境を整え、笑顔あふれる日々をサポートできるよう取り組んでいきます。



作業 (ネジ袋入れ)



創作活動



職員研修

社会福祉法人 荒木福祉会 荒木学園

〒839-0811 福岡県久留米市山川神代1-8-8
TEL 0942-44-6770 FAX 0942-44-6770
HP <https://araki-gakuen.com/>



施設HP
二次元バーコード

昭和61年6月に知的障がい者施設として開園した荒木学園は、久留米市東部の筑後川・高良山・コスモスパーク等も近く、環境に恵まれた場所に位置しています。就労継続支援B型は、タオルの折り・袋入れ、配送をしております。生活介護はローソクの箱詰め・検品を主な作業として取り組み、利用者にあった活動や、買物訓練等を行っています。また、地域交流の一環として、校区行事に参加したり、制作活動で作成した貼り絵をコミュニティセンターに掲示してもらったり、地域の方とともにじゃがいもの苗植えや収穫も行っております。今後も地域と交流を深めながら、本人様をはじめ御家族の方に寄り添い、『友に』成長していきたいと思っております。



社会福祉法人 和光会 笠松あんじゃ園

〒820-0111 福岡県飯塚市有安959番地4
TEL 0948-82-0153 FAX 0948-82-1166
HP <http://wakokai-f.com>



施設HP
二次元バーコード

社会福祉法人和光会 笠松あんじゃ園は、定員70名の障がい者支援施設です。主に知的障がいのある方に施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時サービスを行っています。「笠松」は、昭和41年に事業所が設立された時の場所の地名です。「あんじゃ」は漢字で「行者」と書き、真実に行じて（真実に向かって日々歩み）、利用者、職員ともに助け合い、向上をはかっていきたいという意味が込められています。日中活動として、紙すき（カレンダー、名刺作り）・園芸・自立課題・リハビリ・リネン準備等を行っています。季節行事やイベントにも力を入れておりご利用者からも大好評です！職員も楽しく行事運営を行っています。ホームページに掲載の広報誌もぜひ覗いてみてください。



いきいき班（リハビリ）の皆さん
が花紙や折り紙を貼り付けました

特集 (豊築地区自立支援協議会報告会)

◆開催日：令和7年2月20日(木) ◆会場：吉富フォーユー会館(吉富町)

豊築地区自立支援協議会は、豊前市、築上町、上毛町、吉富町の一市三町で構成されており、2年ごとに開催される報告会では、豊築地区の住民の皆様、町長、市議会議員、町議会議員をはじめ、福岡県内外から議員の皆様や行政機関、各相談事業所、県内自立支援協議会、当協会会員事業所等を対象として、自立支援協議会の概要や活動内容の報告を行っています。コロナ禍の影響もあり中止となった回もありましたが、今回が2回目の開催となり300名の参加者となりました。豊築地区の自立支援協議会には、本会の事業所も多数所属しており、当日は、報告会の運営協力、販売ブースでの生産品販売を行いました。

〔プログラム〕

- ・自立支援協議会会長の木高 徳典氏(当協会会長)による開会挨拶(ネットワーク構築の呼びかけ)
- ・協議会の概要及び活動内容報告(豊築自立支援協議会の概要説明、各部会(相談支援部会、こども部会、就労支援部会)からの活動報告)
- ・厚生労働省虐待防止専門官・障害福祉専門官の松崎 貴之氏による特別講演「地域における障害者虐待防止の取り組みについて」

松崎氏の講演により、虐待防止について更に理解が深まり、会員施設の法人内虐待防止研修につなげる機会となりました。

「自立支援協議会」ってナニ？

自立支援協議会は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下「障害者総合支援法」といいます)に位置付けられ、障害者総合支援法の理念を達成するため、開催されます。障害のある方が地域で安心して生活するために、「人と人をつなぎ、地域の課題を地域で共有し地域で協議する場」が自立支援協議会です。障害福祉に係る者に限らず、保険、医療、教育、就労、当事者、地域住民など、**地域に暮らすありとあらゆる立場の方が“地域づくりのために”**協議しています。

ハロウィンパーティー2024

◆開催日：令和6年10月16日(水) ◆会場：ホテルマリターレ創世久留米(久留米市)

本会では、会員施設の利用者と職員が楽しめるイベントとして、ハロウィンパーティーを開催しており、今年は30施設から489名の参加がありました。各参加者は個性あふれる仮装とキラキラと光るグッズに彩られ、ハロウィン一色の中でパーティーはスタートしました。『モリカズバンド』による演奏は毎回好評で、エネルギッシュなパフォーマンスに、参加者も一緒に歌ったり踊ったりと、楽しさを体全体で表現されていました。また、恒例となった仮装コンテストでは、参加者の皆さんが趣向を凝らした仮装を披露し、会場は拍手と歓声に包まれました。おいしい料理を楽しみながらおしゃべりをしたり、抽選会でドキドキしたりと更に盛り上がり、他施設の友人とも久しぶりに再会し、参加者が交流を深める機会となりました。



(支援スタッフ部会)



全国児童部会大会

第21回全国児童発達支援施設運営協議会（福岡大会）

◆開催日：令和6年11月25日（月）～26日（火） ◆会場：ホテルニューオータニ博多（福岡市）

令和5年4月、こども家庭庁が設立されたことにより、障害児福祉の取組は大きな進展を迎えました。こどもの施策には、「地域拠点的役割」「支援ニーズの高い児童への支援の拡充」「家庭支援の充実」「障害児相談支援の充実」等、具体的かつ実践的な要素が求められています。このような中で開催された本大会には322名が参加されました。1日目は、こども家庭庁支援局障害児支援課 課長補佐・統括専門官 鈴木 久也 氏からの行政説明。その後、「障害児入所」「障害児通所」「こどもの意見表明権」の分科会に分かれ、先駆的な取組を共有しながら活発な意見交換を行いました。また、2日目は「命をつなぎ愛を育む」と題し、こうのとりのゆりかごの当事者の宮津 航一 氏、こうのとりのゆりかご運営の中心的役割を担った田尻 由貴子 氏に講演いただきました。講師から命の尊厳を問いかけられ、会場には共感の渦が広がり、大会全体が華やかに彩られました。多くの方の御協力のおかげで、大会は成功裡に終わりました。心より感謝申し上げます。

(児童発達支援部会)



九州地区親善球技大会

第39回九州地区知的障害者施設親善球技大会（福岡大会）

◆開催日：令和6年10月21日（月）～22日（火）

◆会場：福岡アイランドシティフォーラム、雁の巣レクリエーションセンター、福岡市総合体育館（福岡市）

本大会は、ティーボール・グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール3種目の九州各県代表選手が一堂に会し、健康増進や交流を目的として毎年開催されており、今年度は福岡県で開催し、387名の参加がありました。

21日 開会式・前夜祭

福岡県の各競技代表1名による選手宣誓に始まり、チーム紹介を行った後、eスポーツ大会、懇親会で親睦を深め、競技の健闘を誓い合いました。

22日 ティーボール大会

雨天により急遽、室内競技の「風船バレー」に変更となりました。初めて風船バレーを行う選手が多い中、チーム一丸となって最後まで戦っていました。

22日 グラウンドゴルフ大会・ソフトバレーボール大会

日頃の練習の成果が発揮され、好プレーや僅差のゲームが随所に見られました。試合後には選手たちの涙や笑顔、さまざまな表情が見られ、素晴らしい大会となりました。

会員施設の職員の皆様には、運営スタッフとして協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

(支援スタッフ部会)



障害者週間啓発ポスター作成

本会では、12月3日から9日までの「障害者週間」を啓発するため、協会オリジナルポスターを作成しています。デザインは会員施設の皆様に募集し、15施設から85作品の応募がありました。どれも素敵な作品でしたので、全てのデザインをポスターに活用いたしました。また、その中で、+youの利用者様 富高 智穂 様のデザインと赤坂園の職員 野瀬 裕司 様が『個人賞』を受賞し、周防学園の施設の皆様の作品が『施設賞』として受賞しました。

個人賞

+you利用者 富高 智穂 様



『かたつむり』

製作にかかるエピソード

かたつむりが大好きです。描いていくととてもうれしい気持ちになりました。いろいろな色の絵の具で塗るのが好きです。特にむらさき色が好きです。



その他の作品は、もう一つのポスターに活用しました。全てのデザイン・エピソードは協会ホームページ (<https://fukuoka-chiteki.jp/>) に掲載しておりますので、ぜひ、素敵な作品をご覧ください。

個人賞

赤坂園 職員 野瀬 裕司 様



『このロゴ知ってる?』

製作にかかるエピソード

ここ数年同じような内容の作品を応募してきました。今後もより一層世の中に障害に関する理解が広がっていくことを願っています。

施設賞

周防学園



『働く喜び』

製作にかかるエピソード

この作品は、畑作業をしている写真を基に施設で飼っていた鶏の卵の殻を使用し、作業風景を一枚の大きなパネルにしました。卵の殻を洗う人、殻に色を塗る人、下絵にポンドで貼り付ける人等役割分担しながら利用者と職員で協力し合い、楽しく作り上げていきました。細かい作業が多かったので時間は掛かりましたが、作り上げていく過程で、今まで皆で楽しく作業をした事等を振り返りながら、利用者の皆さんが「働けるって良いね、楽しいね、障害があってもなくても働く事の楽しさは皆一緒だね」と言いながら、作品を完成させました。

新規会員加入施設紹介

社会福祉法人 庄内幸和福祉会 麦穂園

〒820-0101 福岡県飯塚市網分596-3
TEL 0948-82-3700 FAX 0948-82-3701

麦穂園は令和2年3月に児童発達支援・放課後等デイサービスの多機能型事業所として開園しました。“明るく元気・素直な心、自分らしく自立できるたくましい子”を育むという運営方針のもと、様々な資格を持つ職員が子ども達の支援を行っています。設備も充実しており、食事をするためのホールや春になると桜の木が満開になる園庭、学習室、各教室と子ども達がのびのび成長できる環境が整っています。

また、食育に力を入れており、クッキングの活動や手作りおやつを提供しています。昨年からは給食も導入し、保護者の方より「色々なものが食べられるようになりました」と嬉しい言葉をいただいています。

今後も職員一同、子どもたちや保護者様のニーズに寄り添った質の高い支援を目指していききたいと思います。



麦穂園園舎



園庭の桜の木の下で



ホールでの食事風景

本会の取組はホームページでも紹介しています。



福岡県知的障がい者福祉協会
ホームページURL・二次元バーコード
<https://fukuoka-chiteki.jp/>
福岡県知的障がい者福祉協会 事務局
住所 福岡県春日市原町 3-1-7
TEL 092-584-3377